

【資料】

# 『テキスト』と『支援の手引き』

生活に役立つ知識と技術を学ぶ講座

## 『講座の開催に向けて』

「特定非営利活動法人 エス・アイ・エヌ」は、知的障害者の生涯学習講座を、2011年10月9日から2012年3月18日までの、6カ月間、毎月1～2回の講座を開催しました。

講座は自立をテーマにして、生活に役立つ技術と知識を学ぶことと、地域で生涯学習の場をつくることを目的にしました。

特に、生涯学習の実践を通して、各講座の取り組み内容や支援方法を明らかにすることを期待して行いました。

各講座は、テーマに沿った専門家の講師を招いて、講義と演習のそれぞれ2時間の単位で学習を開催しました。

そして講義の進行と支援体制は、講師が講義や演習を進めて、3～4名のボランティアにより進行の援助を行いました。ボランティアは講義を進めていく上で必要な支援をしました。ロールプレイや集団討議にも参加をして、共に学びあうこともありました。

講座開催にあたっては、パソコンやプロジェクター及び机や椅子などを、独立行政法人福祉医療機構の平成23年度社会福祉振興助成事業の助成金により購入し、学習環境を整備しました。

このように、知的障害者の生涯学習に取り組むための支援と環境を整備して開催に至ることができました。

## 生涯学習講座の日程（2011年10月～2012年3月）

	日 程	内 容
第1回	2011年 10月9日（日） 講座：10時～12時 演習：13時～15時 ＊次回以降も同時間帯。	『開講式』講座の内容説明 ＊初日（10/9）のみ開始は9時45分 講座 1「コンピューターの使い方」 演習 1「コンピューターを活用した情報収集」 ○ 講師：OAインストラクター 大嶋洋子
第2回	10月23日（日）	講座 2「障害者の福祉制度」 演習 2「障害者福祉サービスの利用」 ○ 講師：広島市こども療育センター 地域支援室 相談員 鈴木秀穂
第3回	11月13日（日）	講座 3「余暇活動を楽しむ」 演習 3「旅行の計画を立てる」 ○ 講師：広島大学 ボランティアグループ 世話人 松枝明日香
第4回	12月18日（日）	講座 4「社会生活とマナー」 演習 4「マナーとエチケット」 ○ 講師：株式会社オプトプランニング 代表取締役 高橋玲子
第5回	2012年 1月22日（日）	講座 5「食と栄養」 演習 5「健康的な食生活」 ○ 講師：広島女学院大学 管理栄養学科 准教授 渡部佳美
第6回	2月19日（日）	講座 6「経済生活について」 演習 6「上手な家計と貯蓄」 ○ 講師：社会福祉士 菅井昌恵
第7回	3月4日（日）	講座 7「健康と医療」 演習 7「自分でできる健康管理」 ○ 講師：広島赤十字・原爆病院 訪問看護ステーション看護師 森山 薫
第8回	3月18日（日）	講座 8「自立について」 演習 8「グループワーク」『修了式』 ○ 講師：広島市立広島特別支援学校 草羽俊之

【企画・運営】 特定非営利活動法人 エス・アイ・エヌ

＊生涯学習講座の開設や運営方法、及び講座の内容や進め方等に関する問い合わせはエス・アイ・エヌにご連絡ください。

【連絡先】 広島市中区大手町5丁目3-4ベルナルドハイツ101

TEL (Fax) 082-247-0058 久保正道

## テキストと支援の手引き

講座のテキストは、各講師が専門性を生かして参加者が分かりやすいように漢字にルビを付けたり、絵や写真の視覚支援を取り入れたりして作成しました。特に、ワークシートやチェックリストなどを活用した学習は、参加者自身が、考えながら記入するときに役立ちました。

そして、学習に楽しく参加できるように体を動かしたり、パソコンによるインターネットの活用をしたりして、参加者の関心や意欲を引き出す工夫もありました。

また、ロールプレイを通して場面を想定した演習や、小集団に分かれてのグループ討議による参加者同士の学び合う取り組みもありました。

次に、紹介するテキストは講座で活用したものを、さらに検討を加えて作成したものです。そして、テキストを使用する方法を分かりやすく解説した指導者用の支援の手引きも掲載しています。

知的障害や発達障害のある人を対象にした福祉現場や教育現場の支援者が、テキストに沿って、支援の手引きを活用して学習を行うことも可能です。

各地域で知的障害や発達障害の人達が、自分らしく豊かに生きるための実践をする学びの場や機会をつくる一助として、これらのテキストが活用されることを願っています。

前述の生涯学習講座の日程表に沿って行われた講座で使用したテキストと、その活用方法について解説をした支援の手引きがセットになって掲載してあります。

講座ごとにテキストと支援の手引きの順になっています。そして講座によって、資料のある場合は本書の最後にとじています。支援の手引きの解説は次の通りです。

1の『学んでほしいこと』では、参加者に講座の趣旨や学んでほしい内容（目的）が書いてあります。

2の『学びのポイント』では、テキストの流れに沿って、参加者に理解や獲得してほしい目当てや内容が書いてあります。

3の『支援のポイントとテキストの活用方法』（SP=Support Point）では、講師や支援者が講義を進めるときの、効果的な支援の手立てや留意点が書いてあります。

4の『資料の紹介』では、テキストや手引書を作成するにあたって参考にした図書や文献・資料、ホームページなどの出典が掲載してあります。さらにテキストの活用や支援の方法を広げたり、深めたりするときの参考になります。

5の『講師の感想』では、講師が講座を通して、参加者の学びの様子や反応などから感じた思いや、生涯学習講座の意義などが書いてあります。